



2026年5月14日

各位

会社名 株式会社トランザクション・メディア・
ネットワークス
代表者名 代表取締役社長 大高 敦
(コード番号：5258 東証グロース市場)
問合せ先 取締役副社長 小松原 道高
(TEL. 03-3517-3800)

2026年3月期 通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026年2月13日に公表しました2026年3月期通期の連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想と実績値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 13,144	百万円 △63	百万円 △128	百万円 △124	円 銭 △3.95
実績値（B）	13,276	0	△73	△60	△1.92
増減額（B-A）	132	64	55	63	—
増減率（％）	1.0	—	—	—	—
（参考）前期連結実績 （2025年3月期）	12,300	△504	△513	△682	△18.46

2. 差異が生じた理由

2026年2月13日に公表した連結業績予想では、フロー収入にあたる決済端末販売売上及び開発売上において、大型案件が翌期に持ち越し、またその他売上（情報プロセッシング他）におきましては、主に一部サービスの案件獲得が未達となったこと並びに新規サービスの立上げが翌期以降になったことに加え、ストック収入にあたるQR・バーコード精算料の加盟店獲得の失注等の発生により売上高が減少した結果、営業利益以下で赤字となる予想でした。

しかしながら、第4四半期連結会計期間においてQR・バーコード精算料の取扱高が想定を上回ったことに加え、端末販売は、「UT-P11」の出荷が増加、開発においても、一部案件が前倒し計上となり売上高は、前回発表予想を上回る13,276百万円となりました。

また販売費及び一般管理費は、費用抑制に努めた結果、当初見込んでいた費用から下回ることとなり、営業利益は0百万円となりました。この結果、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回予想を上回る結果となりました。

(参考情報) ストック収入・フロー収入別売上高増減表

単位：百万円		前回発表予想 (A)	実績値 (B)	増減額 (B-A)
売上高		13,144	13,276	132
ストック収入		9,223	9,262	38
(内訳)	センター利用料	5,036	5,040	4
	QR・バーコード精算料	3,770	3,790	19
	登録設定料	416	430	14
フロー収入		2,360	2,440	79
(内訳)	決済端末販売売上	1,348	1,375	26
	開発売上	605	656	51
	その他 (情報プロセッシング他)	406	408	1
子会社等		1,560	1,574	14

以 上